

2006年2月期第1四半期連結業績のご報告(その1)

## 売上高 11%増、利益は 7 割減——3・4 月に広告宣伝費を大幅に上積み

- 当四半期連結業績は、売上高が前年同期比 11%増の 46 億 1 千 5 百万円、営業利益が同 72%減の 1 億 6 千 5 百万円、経常利益が同 73%減の 1 億 6 千万円、四半期純利益が同 72%減の 8 千 9 百万円となりました。
- 主力商品である無料求人情報誌『DOMO』の売上高が予想を上回って大きく伸びました。週 2 回発行の首都圏版が予想通り順調に拡大し、静岡 3 版および名古屋版が予想を上回りました。
- 期初計画通り、前年同期の約 9 倍に当たる約 5 億円の広告宣伝費を投入し、年度の変わり目(3・4 月)に新規読者の獲得を図りました。そのため、利益は前年同期比 7 割減と一時的に大幅な減益となりました。
- 人材需要は調整局面ですが、期初の想定範囲のため、現時点では今期の業績予想に変更はありません。2005 年 10 月に『DOMO』神戸版を創刊し、関西圏の強化を図ります。

### 業績のご報告にあたって

株主の皆さまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。2006 年 2 月期第 1 四半期(2005 年 3 月 1 日から 2005 年 5 月 31 日まで、以下当四半期)の業績速報をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当四半期の連結業績は増収減益となりました。期初時点では営業赤字を予想していましたが、『DOMO』の売上高が特に静岡・名古屋において期初予想以上となったため、減益ながらも黒字を確保することができました。

大幅減益の最大の理由は、新規読者の開拓に向け、前年同期の 9 倍に当たる約 5 億円の広告宣伝費用を計上したことです。東京・名古屋・大阪に進出し、『DOMO』の商品力に一定の自信を持つことができたため、3 年後のトップシェア獲得を目指し、まずは年度の変わり目である 3・4 月に新規読者の開拓を図りました。

2005 年 3 月に創刊した『DOMO』千葉版が予想以上の立ち上がりを見せています。後発の市場参入でも一定のシェアを獲得し得るブランド力がついてきたと感じているため、新たな地域展開として 10 月に『DOMO』神戸版を創刊し、関西圏での収益拡大を図ります。

インターネットについては、期初から積極的に展開している広告宣伝と、インターネットでの募集に適した求人情報の掲載を図り、商品力の向上に努めています。

足元の景気調整の影響を受け、人材需要も調整期に置かれています。一方で競合の動きが早まるなど、業界再編が本格化する可能性が生まれつつあります。アルバイトタイムスとしては、すでにトップシェアである静岡に加え、東名阪での非正社員分野のトップシェア獲得を目標に、『DOMO』をけん引役とした成長ストーリーを着実に実現してまいります。今後ともアルバイトタイムスにご期待ください。

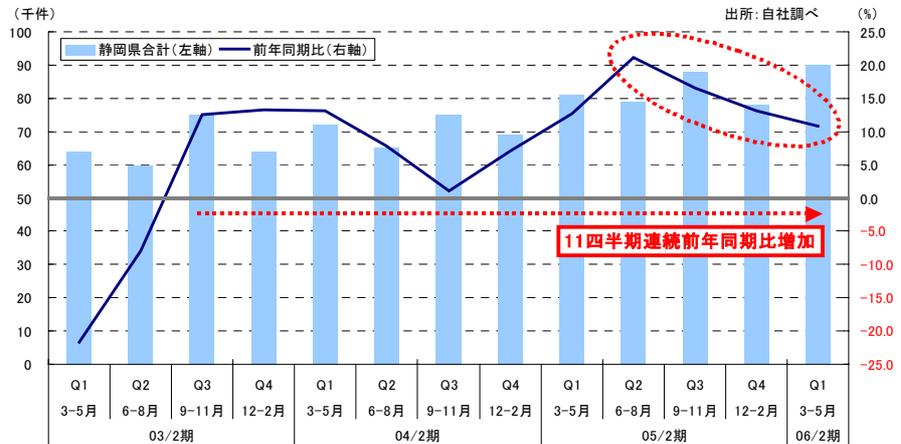
2005 年 6 月  
代表取締役社長  
鈴木 秀和

## 事業環境

当四半期の事業環境は、景気調整の影響は受けているものの、引き続き堅調に推移しました。大幅に上積みされた新卒採用計画や堅調な民間の設備投資計画などが表すように、今後の景気見通しに悲観論が少ないことがその下支えとなっていると推測されます。特に非正社員分野においては、機動的な経営判断を可能にするた

めの非正社員活用に変化は見られず、人材派遣・業務請負・テレマーケティングといった人材サービス会社の業容は大幅に拡大しています。さらに、規制緩和がそれらの事業機会を拡大させる一方で競争はますます熾烈となっているため、各社ともスタッフの確保に積極的になっています。

静岡県内の求人広告件数の推移



## 当四半期の業績

主力商品である無料求人情報誌『DOMO』の売上高が順調に拡大したため、当四半期(2006年2月期第1四半期)の連結業績は期初予想を上回りました。売上高は前年同期比 11%増の 46 億 1 千 5 百万円と二桁の増加となりましたが、営業利益は同 72%減の 1 億 6 千 5 百万円、経常利益は同 73%減の 1 億 6 千万円、四半期純利益は同 72%減の 8 千 9 百万円と大幅に減少しました。

減益の最大の理由は、前年同期の 9 倍に当たる約 5 億円の広告宣伝費用を計上したことです。期初に掲げた中期経営目標である 3 年後の非正社員分野でのトップシェア獲得に向け、まずは年度の変わり目である 3・4 月に新規読者の開拓を図りました。3 月に創刊した『DOMO』千葉版の先行投資負担も減益の要因です。

『DOMO』の売上高は前年同期比 32%増の 29 億 4 千 9 百万円となりました。首都圏版の売上高は期初予想通り大幅に拡大し、静岡 3 版および名古屋版は期初予想を大きく上回りました。2004 年 9 月に開設した求人情報サイト『DOMO NET』の売上高は 2 百万円、正社員向け求人情報サイト『ESHIFT』は前年同期比 169%増の 3 千 7 百万円となりました。

連結子会社リンクが行うフリーペーパー取次事業の売上高は前年同期比 84%増の 2 億 2 千万円となりました。首都圏を中心にフリーペーパーが急増し事業機会が拡大したためです。一方、雑誌(有料誌)取次事業は前年同期比 31%増の 2 千 7 百万円となりました。当四半期は増収となりましたが、有料誌の減少とともに同事業の事業機会は縮小しているため、2005 年 7 月末をもって同事業から撤退し、フリーペーパー取次事業へ集中するこ

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2006年2月期第1四半期連結業績のご報告(その3)

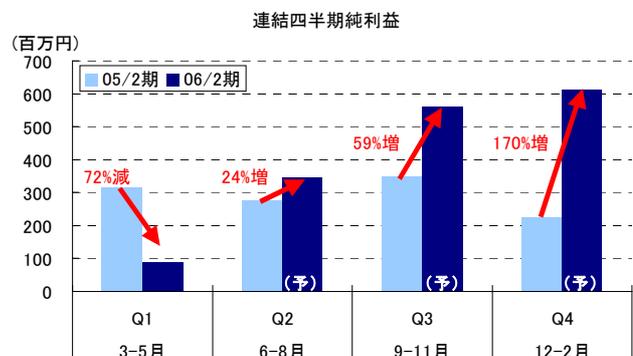
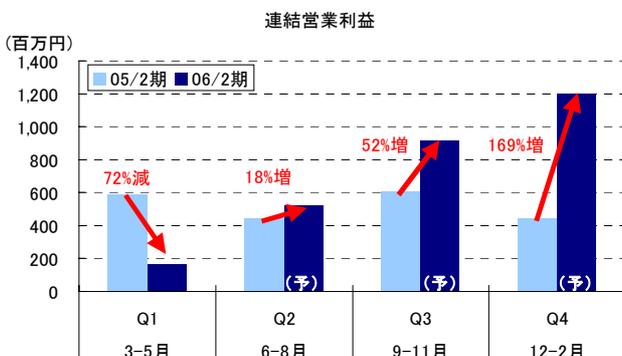
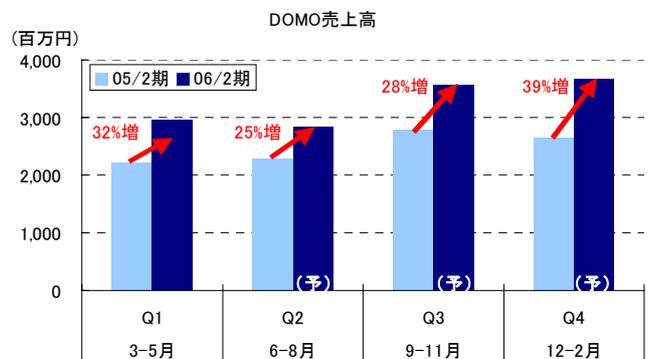
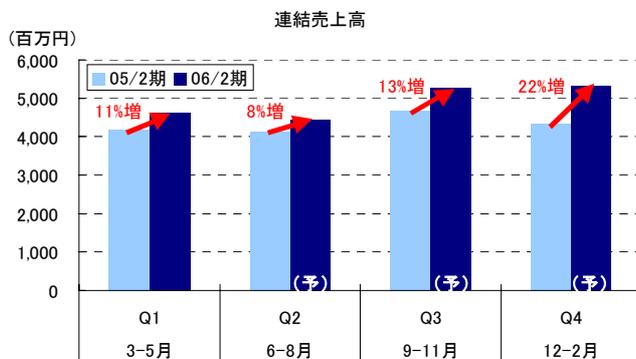
とを決定しました。連結子会社ソシオが行う人材派遣事業の売上高は前年同期比7%減の13億6千9百万円となりました。引き続き派遣スタッフの確保が難しく減収減益となりましたが、黒字は確保することができました。

## 今期の業績見通し

事業環境としては、報道等によれば景気の下半期回復予想が大勢を占めているため、現在の人材需要の調整局面が大きく悪化する、あるいは調整期間が長期化するといったことは想定し難い状況です。また、『DOMO』の大口顧客である人材派遣・業務請負・テレマーケティングといった人材サービス業界の競争は激化しており、差別化を図るためのスタッフの獲得意欲は引き続き旺盛です。

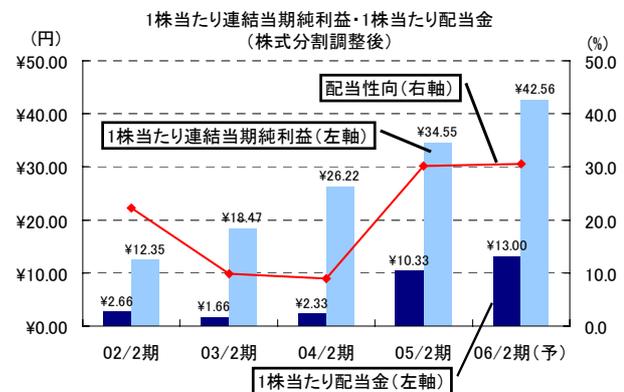
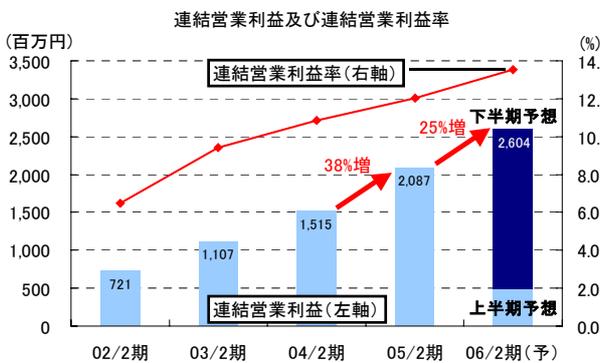
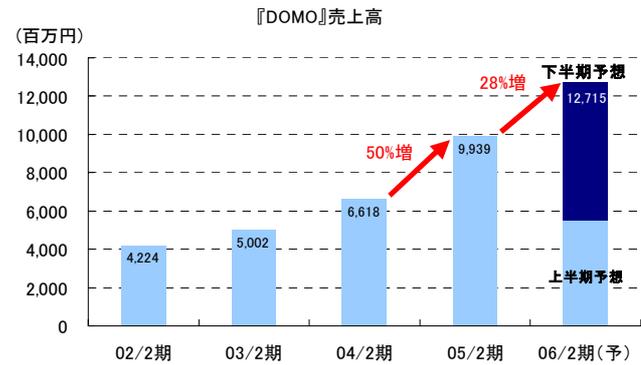
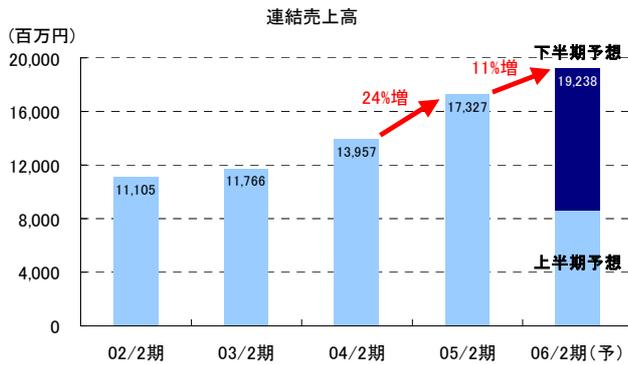
このような状況のもと、『DOMO』の地域展開を加速させています。2005年3月に創刊した千葉版は、首都圏で得たブランド力に加え、競合誌より広い地域を網羅する商品設計と、きめ細やかな営業活動の徹底などにより、予想以上のスピードで市場浸透し始めています。そのため、期初予想通り下半期に新たな地域展開を行います。具体的には10月に『DOMO』神戸版を創刊し関西圏の強化を図ります。

現時点では期初に公表した業績見通しに変更はありません。今期(2006年2月期)の連結業績は、売上高が前期比11%増の192億3千8百万円、営業利益は同25%増の26億4百万円、経常利益は同24%増の25億9千2百万円、当期純利益は同24%増の14億5千5百万円と3期連続で過去最高を更新する見込みです。1株当たり当期純利益は42.56円、期末配当金は1株当たり13円を予想しています。



本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2006年2月期第1四半期連結業績のご報告(その4)



## 中間決算発表予定日のお知らせ

2006年2月期中間決算(3月~8月)の発表予定日は10月中旬を予定しています。当社ホームページでは決算発表予定日などIR関連のスケジュールを掲載していますので、インターネットに接続できる環境にある方はぜひ一度アクセスしてください。

URL: <http://www.atimes.co.jp/corporate/index.html>

また、電子メールアドレスのみで登録が可能な「メールマガジン」ではホームページの更新情報やニュースリリースを無料でお届けしています。こちらもあわせてご利用ください。

お問合せ先  
株式会社アルバイトタイムス

総務部 IR担当

E-mail: [ir@atimes.co.jp](mailto:ir@atimes.co.jp)

TEL: 03-5202-2255 FAX: 03-5202-2300

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-14

日本橋加藤ビルディング

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。